

はじめる前に大切な 8つのこと

1

子ども・若者に情報を与えることは、**有益なことであり、害のあることではありません。性についてもそうです。**

調査によれば、性の話題について子どもと率直に話をする保護者をもつ子どもたちは、性行為を始める年齢が遅く、性生活を始めた時にはより責任感のある行動をとる、ということが明らかになっています。

2

性やジェンダー、生殖について、子ども・若者と早い段階から話をすることで、**あなた自身**が、彼らにとっての知識やアドバイスの情報源となることができます。

また、彼らが**あなたのことを信頼できる情報源**だと考えるようになると、友人やメディア、インターネット等、ほかの不正確で混乱させやすい情報に彼らが頼ることが減るでしょう。

3

子どもたちがあなたに質問をしてくるまで**待つ必要はなく**、むしろ待つべきではありません。質問してくるのを待つことは、彼らにとっての初めの情報源があなたではないということを認めてしまうのと同じです。

4

「幼い子どもに性について教えるのは早すぎる」というのは神話です。年齢が幼くても、他のトピックと同じく、わかりやすい言葉で説明すれば、子どもたちは関心を持って耳を傾けるでしょう。

5

性について話すことには、性自認やジェンダーについても含まれます。社会に存在する偏見に基づいた性役割について、子どもたちに気付かせることは、彼らが自分らしく過ごせ、他の子どもたちのことありのまま受け止められるようになる手助けとなります。

6

大人が子どもに考えを植え付けるわけではありません。子ども自身の自然な好奇心にまかせて良いのです。周りの大人のことを、親しみやすく質問しやすいと感じていれば、多くの子どもは4-6歳ごろに、自分がどのようにして誕生したのか自ら尋ねてくるでしょう。彼らからの質問に合わせて会話をするようにしましょう。

7

子どもに彼らがどのようにして誕生したのか話すことは、大人の性行為について話すこととは同じではありません。それは彼らにとって、新しい命がどのように作られるのかという**科学についてのトピック**なのです。子どもが成長するにつれて、性的な行動は体だけではなく心にも関わるものであることや、性行為が生殖のためだけのものではないということも、彼らに伝えられるようになるでしょう

8

性について話すことは、単純に話せば済むというものではないこと、そして、始めるのに遅すぎることはないということを、心に留めておいてください。子どもと性について会話をすることは、彼らが人生を通して性の健康を実現する助けになるでしょう。